NEW

調べて！町の調査隊〈1〉

あじさい祭目前!!
「あじさいちゃん」と「しいがしくん」のナゾにせまる!!

問 自治活動応援課 ☎84-0315

あじさい祭の会場でも人気を集める「あじさいちゃん」と「しいがしくん」。あじさいの里を訪れる子どもたちからはこの二人にいろいろな疑問や質問があるようで…。

普段はあまりおはなしできないお二人に開成町まちづくり情報特派員が直撃インタビューしてみました。

特派員（以下、特）二人のおうちはどこ？

あじさいちゃん（以下、あ）ひ・み・つ

しいがしくん（以下、し）町中いろんなところにヒミツの出入口があるの

特 生まれたところはどこですか？

あ 町のあじさいの花から生まれたの！

特 今、何歳ですか？

あ 女の子に年齢は聞かないで！ ずっと5歳だけど!!

し 5歳だよ！

特 好きな色は？

あ あじさいの紫色♪

し はっぱの緑！ あと土の茶色も。

特 シブイねー。

特 いちばんのなかよしはだれですか？

あ 町のみんな!!

特 単刀直入にうかがいます。お二人がつきあってる、って本当？

し ええと、それは…

あ ナイショ♪

特 では最後に将来の夢は？

あ・し 日本中のゆるキャラと友だちになること!!

特 今日は、どうもありがとうございました。

あ・し あじさい祭の会場にいるから会いにきてね!!

開成町の気になるあの場所・あの人をお知らせください。開成町まちづくり情報特派員が取材します。お寄せいただいた情報の中から選定し、このコーナーへ掲載（偶数月）させていただきます。住所、氏名、内容をご記入のうえ、メールまたはファックスでお送りください。

jitika@town.kaisei.kanagawa.jp

FAX 82-5234

かいせい安全・安心だより

◎空き巣（進入盗）に注意

戸建て住宅では、窓ガラスを破って侵入する手口が、またマンションやアパートなどの共同住宅では、玄関扉の錠などを破壊して侵入する手口が目立っています。

○侵入防止のポイント

・戸締りを徹底しましょう。
→ゴミを出すときなど、少しの時間でも必ず戸締りを！
→トイレや小窓など、盲点となる所も忘れずに！
→出かける前や就寝前に、もう一度確認する癖を！

○侵入盗の犯人が嫌がる要因

・音……侵入時に音が発生する。防犯ブザーなどセンサーにより警戒音が鳴るもの。
・光……防犯灯などが設置されていて明るく照らされている場所。
・目……見通しが確保されていて身を隠す場所がない。近所の人に見られる、声を掛けられる。
・時間…補助錠や防犯性能の高い建物や部品などにより、侵入に時間がかかる。

日ごろから、「自分の財産は自分で守る」という防犯意識を高め、侵入盗防止対策を進めましょう！

図書室だより

町民センター３階

【開室時間】火～金曜日　10:00～20:30
土・日曜日　10:00～17:00
【休 室 日】毎週月曜日
※貸し出し冊数は４冊まで期限は２週間です

今月のこの１冊

少年十字軍　　**皆川博子**

羊飼いの少年エティエンヌは宗教的啓示を受け、少年少女に呼びかけ聖地エルサレムをめざす。旅の途中で子どもたちを待つのは大人たちの思惑や謀略であった。

著者は1930年生まれ。80歳を過ぎてもなお意欲的に作品を発表している。歴史上の少年十字軍の言い伝えはあるが、著者はそれぞれの登場人物たちに魅力を与え、新たな少年十字軍の物語に仕立て上げた。

新しく購入した図書（主なもの）

● 一 般 書 ●

・陽炎の門　葉室麟
・夢幻花　東野圭吾
・ランチのアッコちゃん　柚木麻子
・心　姜尚中
・手のひらの砂漠　唯川恵
・銀行支店長、走る　江上剛
・愛の夢とか　川上未映子

● 児 童 書 ●

・かわいいゴキブリのおんなの子メイベルのぼうけん　ケイティ・スペック
・からすのおかしやさん　かこさとし
・魔女のシュークリーム　岡田淳
・ぼくはたまごにいちゃん　あきやまただし
・砂漠の大研究　片平孝

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場
内　容　「たなばたかざり」をつくります
持ち物　はさみ、スティックのり、カラーペン
日　時　６月２９日㈯　10：00～
場　所　町民センター２階　小会議室Ａ
申し込みは直接図書室へ　　または、☎82-5221

◇おはなし会（第２土曜日、第３水曜日）
日　時　６月　８日㈯10：30～
６月１９日㈬15：00～
場　所　町民センター３階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月１日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動を推進します。

＊文　芸

短歌

四月詠

飽食の鳥もゐるらし
挿しをきし蜜柑食まずに足で弄ぶ　諸星　末子

「二句切れ」の推量の様子が、三句目以降で具体的に説明され、納得させられる。作者が庭先に用意した餌を食べないで、足でいじって興ずる動作は、現代に生きる身近な鳥の習性の象徴と言えよう。

歌作り黙して指折る傍へにて
愛犬けげんな顔で見つめ　石井はま江

短歌を作る際、黙って指を折り字数の確認を行うこともあるが、その様を傍らの愛犬は、いぶかしげに作者を見つめているという。短歌作りの大変さと作者を気遣う愛犬の様子がうまく詠まれている。

ともしび短歌会

校門の前に住みみて五十余年
予報気遣ふ行事のたびに　府川ハツエ

学校は、作者の如き思いを抱く方々に支援され、維持されている。本歌から、長年、学校行事がある度に明日の天気を思い、児童の成長を常に見守り、日々声掛けをしている様子までも想像される。

近藤　正臣　選

俳句

五月吟

船旅や人魚になりて髪洗う　瀬戸　悦子

〈髪洗う〉は夏の日常的な季語です。豪華船の旅を堪能されたとか、その一コマをよく俳句に仕立てました。メルヘン調でもあり、艶かしい大人の世界に浸っている様にも見える作品です。作者にとって記憶に残る楽しい船旅であったでしょう。

開成俳句会

桐咲くや文箱に今も母のもの　遠藤シヅ子
髪洗う少女の指のしなやかに　奥津ちわき
もの忘れ笑いとばしぬ聖五月　遠藤まつ子
新調は望まぬ老いの更衣　波多野すみ枝
茹でたての絹莢青し今朝の卓　下澤　操子
髪洗う閉め忘れたる裏の木戸　遠藤マツエ
会席の筍づくし大絵皿　遠藤美津子
髪洗う丈も短く纏めけり　有賀　孝子
遠富士や五月の風にさそわれて　濱本　主雄
甲斐路来て青める夜の五月富士　新井たか志

新井たか志　選